

我が社の得意技 ⑤3

ケーアイ株式会社 (朝日市)

手作業による生産で築く信頼関係

朝日市に立地するケーアイ株式会社は、手術で使用される医療用製品を主に扱う企業である。使用する医師や手術の内容に合わせた製品づくりを実現するため、その生産工程のほとんどを丁寧な手作業で行っている。

同社は、平成元年4月に新居浜市で設立し、当初は不織布を使用したテーブル布巾を生産していた。平成8年に医療用品メーカーからの受注をきっかけに、医療用製品も手掛けるようになった。その後、事業拡大のため工場を当市へ移し、生産・販売を行っている。



▲医療用キットの生産の様子

利便性と安全性を兼ね備えた製品

同社の主な製品には、手術時に患者を覆う医療用ドレープと、手術に必要な注射針やチューブなどを滅菌状態でまとめた医療用キットがある。

一般的な医療用ドレープは、サイズなどを規格化していて、海外の工場で機械によって大量生産したものが多く。しかし、同社の製品は、医師や手術内容によってサイズのカスタマイズが可能で、サンプルを病院へ何度も持ち込み、医師たちに使いやすいさを確認した上で生産している。

医療用キットも、手術の内容に合わせて格納する器具を変えていて、人手不足となつている医療現場での時間短縮と、人為的ミスの軽減に寄与している。

このように同社は、一刻を争う手術の現場で求められる利便性、安全性などを考慮した多種多様な製品づくりを進め、現在では、約4千種類もの製品を手掛けています。

熟練の技による安定供給

同社の製品は、機械による大量生産が難しい。日々、100人を超え

る職人たちが手作業で、原材料の切り出しや、器具の選定から梱包までを行っている。

生産には、寸法測定や裁断、滅菌など正確な仕事と、作業スピードが求められるため、一朝一夕では品質や供給量の確保は難しい。しかし、同社には勤続年数10年を超える熟練者が多数在籍しており、マニュアルでは表現しきれない技術が蓄積され、製品の安定した供給が可能となっている。また、同社は、こうした生産技術を継承していくため、新たな人材の確保や教育にも積極的に取り組んでいる。

蓑田好司社長は、「利便性、安全性が高い製品の安定供給によって顧客との信頼関係を築いてきた。医療用製品は供給ができれば人の命に関わることから、これからも堅実に事業を続けていきたい」と語る。こうした姿勢で事業展開する同社の製品は、ユーザーからの厚い信頼を得て、医療現場に欠かせないものとして長く愛用されている。



▲蓑田社長(上)とケーアイ株式会社工場

商標にまつわるエトセトラ
 商標の活用による成功例・失敗例

知財広め隊セミナー

in 愛媛

知的財産の中でも商標についての話題に特化したセミナーです。商標とは何か、どのように調べるのか、から始まり、助成金などの支援策や、商標の活用による成功例とその秘訣、失敗例を具体的に紹介します。

講演後には、参加者と知的財産活用の弁理士との交流会を開催します。ぜひご参加ください。

開催予定

○日時 2月13日(火)

17時~20時30分

○場所 産業情報支援センター2階

会議室

○申込方法 左記URLから申し込み。

QRコードでもアクセスできます。

URL <http://www.benrishi-navi.com/>

f/?id=a4592&type=1



問合せ

日本弁理士会 知財広め隊担当

TEL 03-3519-2709

